公安委員会定例会議(第27回)の開催状況

第1 日 時 令和2年11月4日(水)

午後2時10分 ～ 午後4時20分

第2 出席者 曾我部委員長、渡部委員、増田委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官

生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長

警察学校長、情報通信部長、総務課長

第3 議事の概要

1 増田委員説示

新聞やテレビでは、常に警察に関する報道がなされており、その中で、今年の交通事故を分析した記事やニュースでは、①1月から9月までの県内の交通事故は、発生件数が減少し、死亡者数は去年と同水準である、②死亡者数が増えている県では衝突時の速度が速いことが要因の一つである、③横断歩道の近くに立っている人に対し車が一時停止する割合は、愛媛県は全国平均(21.3%)を下回る14.5%である、④交差点にカラー舗装を施したり路面標示をはっきりとさせることで交通事故の発生件数を大きく減らしている県もあると報じられています。

悲惨な交通事故を一件でも減らすために、運転者には、夜間は原則ハイビームで走行すること、横断歩行者を認めたときは一時停止するなどルールをきちんと身に付け守っていくこと、速度を落として走行すること、高齢ドライバーに実技試験を課すことなどが求められ、一方、歩行者には、横断歩道では車両の運転者にアイコンタクトをとり、手を挙げるなど明確な合図を送ること、夜間は反射材を身体の前だけでなく横にも付けることや各方向から認識できるよう明るい格好をすることなどが求められます。

加えて、消えかけている横断歩道の補修や路面のカラー化、センサーライト付き信号機や歩行者先出し信号の効果の検証、AI技術を活用した交通事故分析など、技術や設備面での充実も必要です。

運転者や歩行者をはじめ、道路を利用するすべての人が道路交通において守るべきことを自覚し身に付けることによって、効果的な交通事故抑止対策を取ることができるのではないのでしょうか。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和2年第26回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

- (2) 禁止命令等実施報告
生活安全部から、禁止命令等実施報告があり了承した。
- (3) 審査請求の審理経過
交通部から、審査請求の審理に関する伺いがあり了承した。

3 報告事項

- (1) 令和2年度第2四半期における随時監察実施結果
首席監察官から、令和2年度第2四半期における随時監察実施結果について報告があった。
委員から、「警察官の殉職・受傷事故防止に向け、引き続き、緊張感を持った職務が遂行できるよう指導・教養を徹底していただきたい」との発言があった。
- (2) 名誉棄損事件被疑者の検挙
刑事部長から、名誉棄損事件被疑者の検挙について報告があった。
- (3) 二輪車5台による集団暴走事件の検挙
交通部長から、二輪車5台による集団暴走事件の検挙について報告があった。
委員から、「教育関係など関係機関とも連携をしつつ、各種対策を取っていただきたい」との発言があった。
- (4) 東京オリンピック聖火を活用した地方創生事業の警戒警備
警備部長から、東京オリンピック聖火を活用した地方創生事業の警戒警備について報告があった。
- (5) 令和2年度総合治安警備訓練実施結果
警備部長から、令和2年度総合治安警備訓練実施結果について報告があった。
委員から、「来年のオリンピック・パラリンピックに向け、引き続き訓練を実施し、更に錬度を高めていただきたい」との発言があった。
- (6) 適正捜査の推進
刑事部及び総務室から、適正捜査の推進に関する報告があった。
委員から、「引き続き、適正捜査の推進に配慮されたい」との発言があった。
- (7) 特殊詐欺事件被疑者の逮捕
刑事部から、特殊詐欺（オレオレ詐欺）事件被疑者の逮捕について報告があった。

(8) 公文書関連報告

警務部及び生活安全部から、公文書関連報告があった。

4 その他

本部長から「委員説示のとおり、交通事故の抑止に向け、横断歩行者対策など各種対策を積極的に進めていくことと併せて、効果的な広報に努めていきたい」との発言があった。

以 上